

# 日本家庭科教育学会 2016（平成 28）年度例会

日本家庭科教育学会  
会長 伊藤 葉子

日本家庭科教育学会 2016 年度の例会を下記の要領で開催いたします。  
会員の皆様、どうぞ多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

日時：2016 年 12 月 11 日（日） 13：00～16：40 （受付は 12：30 から）

場所：東京家政大学 板橋キャンパス（東京都板橋区加賀 1-18-1）  
\*JR 埼京線十条駅下車徒歩 5 分

## タイムスケジュール

受付	12：30～	大学 1 号館 5 階
研究発表	13：00～14：40	1-5B, 85A, 85B, 1-6A
課題研究最終報告会	14：50～16：40	1-6A

理事会 9：30～11：00（大学 1 号館 5 階 1-5A 講義室）

地区会代表者会議 11：15～12：15（大学 1 号館 5 階 1-5A 講義室）

- ★研究発表の発表者でパワーポイントご使用の方は、12：30～12：50 までの間に各会場にてデータのインストールを行ってください。
- ★口頭発表の時間は 15 分、質疑応答の時間は 5 分です。
- ★口頭発表のための資料は、パワーポイントおよび印刷物とします。

参加費：正会員 1,800 円      学生会員 1,000 円  
          非会員 2,000 円      学生非会員 1,500 円

上記に関する問い合わせ先： 日本家庭科教育学会事務局  
〒112-0012 文京区大塚 4-39-11 仲町 YT ビル 3 階  
Tel & Fax 03-3942-7885  
E-mail kateika@amethyst.broba.cc

## I. 研究発表 (13:00~14:40)

### 第1会場 (1-5B講義室)

座長 川邊 淳子 (北海道教育大学旭川校)

- |     |  |                               |              |
|-----|--|-------------------------------|--------------|
| 1-1 | 小学校家庭科での包丁による皮むき<br>技能習得のための指導方法の提案                          | 帝京大学教育学部                      | ○勝田映子        |
| 1-2 | 「手洗い」への興味を引き出す教材<br>開発とその検証<br>ー洗浄実験と自由洗濯実習を繋げた<br>小学生の実践よりー | 信州大学学術研究院教<br>育学系             | ○福田典子        |
| 1-3 | 家庭科におけるキャリア教育の授業<br>開発                                       | 磐田市立東部小学校<br>山梨大学大学院総合研<br>究部 | ○丹采風<br>志村結美 |

座長 八幡 (谷口) 彩子 (熊本大学)

- |     |  |   |                |
|-----|--|---|----------------|
| 1-4 | 中学校家庭科における「災害時の食」<br>の授業評価                   | 兵庫教育大学大学院学<br>校教育研究科 (院生)<br>兵庫教育大学大学院学<br>校教育研究科 | ○小林裕子<br>永田智子  |
| 1-5 | 小・中・高の学びをつなぐ授業記録用<br>紙とポートフォリオ型ワークシート<br>の開発 | 宮崎大学大学院教育学<br>研究科 (院生)<br>宮崎大学大学院教育学<br>研究科       | ○山村季代<br>伊波富久美 |

### 第2会場 (85A講義室)

座長 吉川 はる奈 (埼玉大学)

- |     |   |  |                                       |
|-----|---|--|---------------------------------------|
| 2-1 | 食育レッスンをういた保育(ふれあい<br>体験)学習の拡張的学習の可能性と効<br>果     | さいたま市立初任者指<br>導教員<br>東京学芸大学教育学部<br>東京学芸大学教育学部<br>香川大学教育学部<br>日本女子大学客員研究員 | ○金子京子<br>倉持清美<br>阿部睦子<br>妹尾理子<br>望月一枝 |
| 2-2 | 衣生活への関心・意欲を高める教材<br>開発<br>ー一枚の布を利用してー           | 東京家政大学大学院<br>(院生)<br>東京家政大学  | ○志賀たか子<br>青木幸子                        |
| 2-3 | 暖かく住まうと環境(省エネ)との横<br>断的授業<br>ー1/10住宅模型を用いた断熱実験ー | 新潟大学<br>長岡造形大学   | ○飯野由香利<br>広川智子                        |

座長 吉本 敏子 (三重大学)

- |     |  |                         |                 |
|-----|--|-------------------------|-----------------|
| 2-4 | 住生活に関する意識を高めるための効果的な学習方法の工夫<br>ー「協働学習」と生活を科学的にとらえる「講座」の実践ー | 東北中学校<br>新潟大学           | ○野池知枝美<br>飯野由香利 |
| 2-5 | 「地域との関わり」を題材にしたソーシャルスキルトレーニングの開発                           | 吹田市立南千里中学校<br>兵庫教育大学大学院 | ○村田晋太郎<br>永田智子  |

### 第3会場 (85B講義室)

座長 佐藤 園 (岡山大学)

- |     |  |                      |                |
|-----|--|----------------------|----------------|
| 3-1 | 高等学校家庭科における安全な住まいに関するアクティブラーニングの提案と検証        | 長岡造形大学<br>新潟大学       | ○広川智子<br>飯野由香利 |
| 3-2 | 気づきを意思決定につなげるアクティブラーニングの授業実践<br>ー食品添加物と健康食品ー | 東京大学教育学部附属<br>中等教育学校 | ○檜府暢子          |
| 3-3 | ホームプロジェクト学習における高校生のプレゼンテーション能力向上プロセス         | 東京都立戸山高等学校           | ○荒井きよみ         |

座長 藤田 智子 (東京学芸大学)

- |     |                           |                        |        |
|-----|---------------------------|------------------------|--------|
| 3-4 | 高等学校家庭科における消費者市民教育        | 大阪教育大                  | ○大本久美子 |
| 3-5 | 家庭科教育における探究と協働の力を育む授業デザイン | 秋田大学大学院教育学<br>研究科 (院生) | ○小松国子  |

### 第4会場 (1-6A講義室)

座長 福井 典代 (鳴門教育大学)

- |     |  |                                     |                       |
|-----|--|-------------------------------------|-----------------------|
| 4-1 | 経済学としての家庭科の存在意義<br>ホーム・エコノミクスからライフ・エコノミクスへ   | 常磐大学人間科学部<br>(非)                    | ○福田豊子                 |
| 4-2 | カナダの家庭科における多文化共生教育の実践<br>ー中等教育学校教員のインタビューからー | 金城学院大生活環境学部<br>常葉大学教育学部<br>千葉大学教育学部 | ○上野颯子<br>星野洋美<br>伊藤葉子 |

座長 安川 あけみ (弘前大学)

- |     |                                   |                                    |                        |
|-----|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------|
| 4-3 | 高等学校家庭科における食物アレルギー対応策に関する研究       | 京都教育大学大学院<br>京都教育大学                | ○福永佳奈<br>湯川夏子          |
| 4-4 | 長野県の長寿から考える家庭科における食生活に関する教育内容の再検討 | 愛知教育大学教育学部<br>弘前大学教育学部<br>山梨大学教育学部 | ○青木香保里<br>日景弥生<br>志村結美 |

## II. 課題研究 最終報告会 (14:50~16:40) 1-6A 講義室

趣旨:

日本家庭科教育学会「課題研究」は、学会活動の柱の1つである「研究活動の推進」の一環として2008年度より設定されました。「課題研究」では、家庭科教育に関する諸課題のなかから、大所高所から研究テーマを取り上げ、学会共通の問題意識のもとに、共同で研究を行います。これまで、第1期(2008~2010年)に6研究グループ、第2期(2012~2014年)に2研究グループが取り組んできました。

第3期(2014~2016年)では、今日の教育課題である[グローバル化]と[貧困]に対して、家庭科教育はどのようにかかわる必要があるのかを追究しながら家庭科の学びを問う研究を行ってきました。

例会では、4研究グループが精力的に取り組んできた研究成果を会員で共有するとともに、家庭科教育の発展やアピールについて皆さんと一緒に考えたいと思っております。

コーディネーター: 財津庸子 (大分大学)  
コメンテーター: 綿引伴子 (金沢大学)

### テーマ1 グローバル化と家庭科

#### 1-1 外国につながるの小学校児童の現状と家庭科の課題

報告者: 河村美穂 (埼玉大学教育学部)  
堀江さおり (宮崎大学教育学部)

#### 1-2 グローバルな視野で世界の家庭科をつなぐ —レッスン・スタディを中心とした日本からの発信と交流—

報告者: 貴志倫子 (福岡教育大学)

#### 1-3 グローバルな視点を導入した家庭科カリキュラム開発

報告者: 大本久美子 (大阪教育大学)

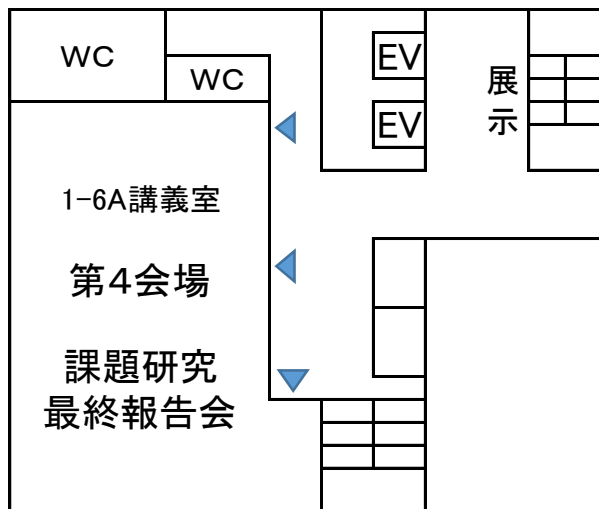
### テーマ2 貧困と向き合う家庭科

#### 2-1 貧困と向き合う家庭科—高校家庭科の取り組みを中心に—

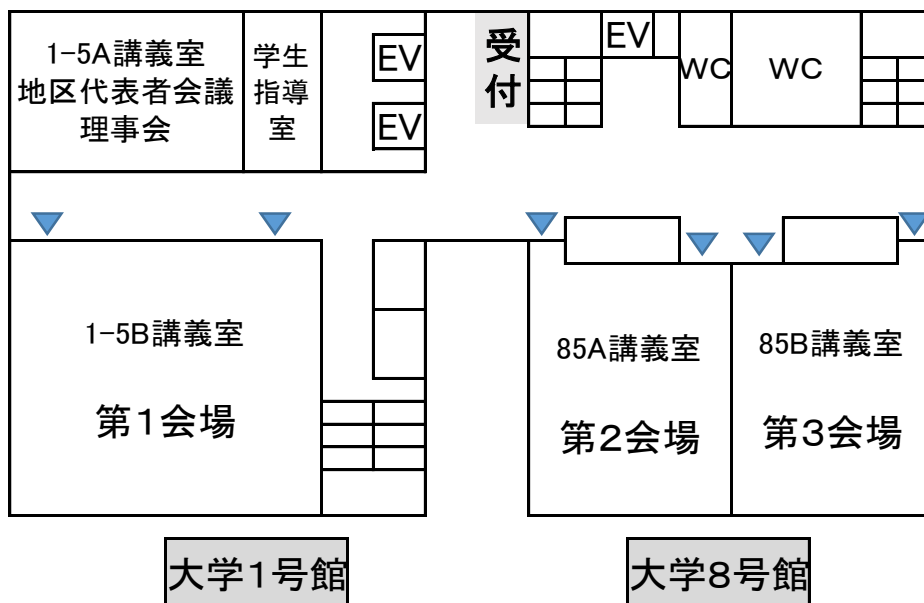
報告者: 大竹美登利 (東京学芸大学)

会場配置図(大学1号館, 大学8号館)

6階



5階



※課題研究最終報告会の打ち合わせは大学1号館5階の学生指導室をご使用ください。

## JR 埼京線十条駅北口下車徒歩 5 分

北口改札を出たら左手の道をお進みください。

突き当たりの信号を渡り左へ進み、3本目の線路脇の路地を道なりに進むと東京家政大学十条門に出ます。

